

【ステップ1: 竜巻とは】

注) 資料中の赤字や赤○は教師用の回答や補足。
配布用では削除。

説明

たつまき 竜巻とは

竜巻は、非常に発達した積乱雲^{せきらんうん}によって発生する激しい^{はげ}風の渦巻^{うずま}きです。多くの場合、竜巻は上から伸びる柱のような形の雲^{ともな}を伴います。竜巻によって、車が飛ばされたり、家が破^は壊^{かい}されることもあります。



竜巻が近づくサイン

下のような現象は、竜巻がすぐ近くに迫っているサインです。異変を感じたら、急いで頑丈^{がんじょう}な建物に避難^{ひなん}しましょう。

- 物やゴミなどが巻き上げられながら飛んでいる
- 土煙^{つちけむり}が近づいてくる
- 耳鳴りがする
- 雲から下に伸びる「ろうと雲」が見える
- ゴーツという音がする



【ステップ1: 竜巻とは】

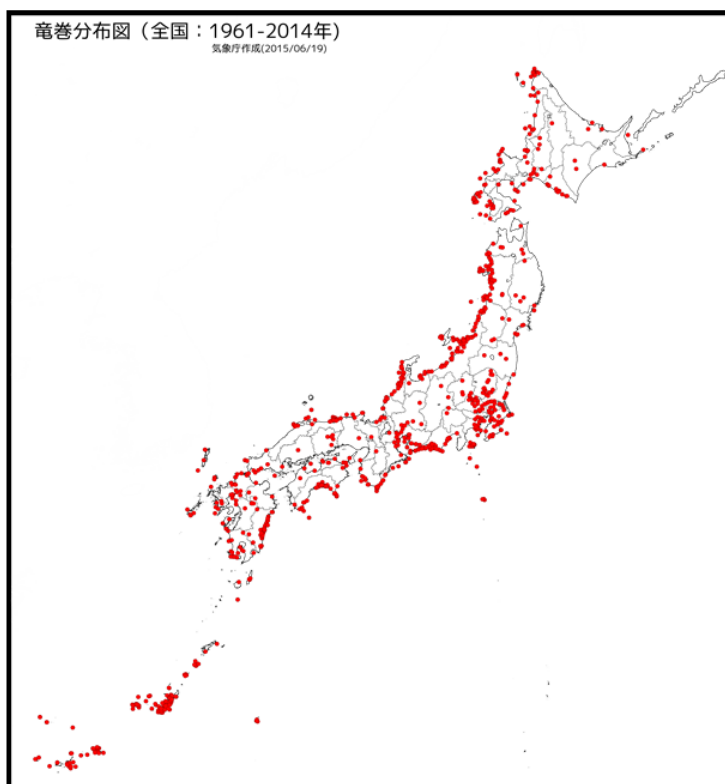
1

たつまき

ひがい

竜巻の発生分布と被害

左の図は、1991年から2014年までに観測した竜巻の分布図です。右の写真は、竜巻による被害の状況です。これらを参考に、下の文章の()内に適切な言葉を記入してください。



竜巻などの激しい突風は、日本中で発生するおそれが(**ある**)。

右の写真では、(**窓ガラス**)が割れ、建物の(**屋根**)などが飛ばされていることがわかる。建物の壁の穴は、飛ばされた木や建物の

破片などが当たったものである。このような突風の被害から身をまも

るためには(**頑丈な建物の中**)へ避難することが大切である。

【ステップ2: 竜巻から身をまもる】

説明

たつまき

竜巻から身をまもる

竜巻がすぐ近くにせまってきたことを感じたら、すぐに身を守るための行動をとってください。^{がんじょう}頑丈な建物への^{ひなん}避難が第一ですが、下図のようなことにも気をつけましょう。



【ステップ2: 竜巻から身をまもる】

2 家の中で竜巻から身をまもる方法は？

竜巻から身をまもるためには、頑丈な建物への避難が第一ですが、家の中でも注意すべきことがあります。考えられることを下の□の中に記入してください。



竜巻から身を守るために家の中で注意すべきこと 以下は回答例です。

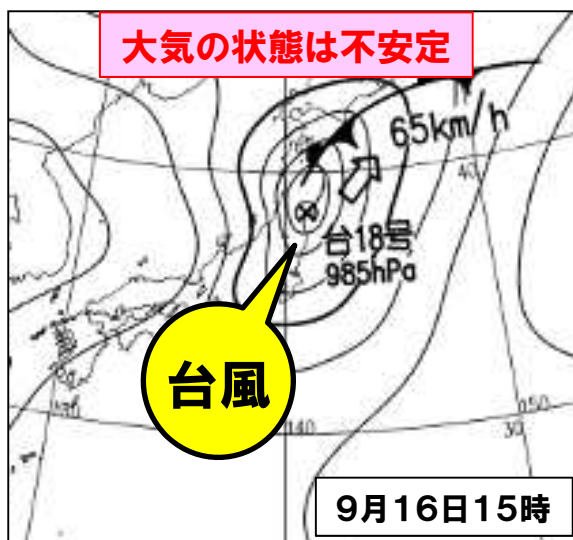
- ・ 窓や外壁から離れる（飛んできたものが壁を突き抜けてくることもあります）
- ・ 1階または地下の窓のない部屋へ逃げ込む（トイレ、風呂、地下室など）
- ・ 浴槽やテーブルの下などにもぐって、頭や首を守って小さくなる
- ・ 余裕があれば、雨戸やカーテンを閉める※

※ 窓ガラスが割れて飛び散るのを軽減するためですが、竜巻が間近に迫っている場合は窓ガラスや外壁から離れることを優先してください。
また、竜巻の写真を撮ろうと窓に近づくのは大変危険です。やめましょう。

宮城県で発生した竜巻たつまき（平成25年9月16日）

平成25年9月16日15時頃、宮城県石巻市では竜巻ひがい※によって、家や店の屋根が飛ばされるなどの被害が発生しました。この日は、台風第18号が宮城県の近くにおいて、大気の状態が不安定になっていました。

※気象台が行った現地調査げんちちょうさによる推定すいていです



石巻市広域消防署提供



石巻市広域消防署提供

宮城県で発生した竜巻たつまき（平成26年9月11日）

平成26年9月11日02時10分頃、宮城県東松島市では竜巻たつまき※によって、木が倒れたり、枝がおれたり、プレハブ小屋が横倒しよこたおになるなどの被害ひがいが発生しました。

この日は、上空の寒気えいきょうの影響で、大気の状態が不安定じょうたいになっていました。石巻市では、観測史上最大となる1時間に91.0ミリの大雨が降った日でもあります。

※气象台が行った現地調査げんちちょうさによる推定すいていです

